記者発表資料

平成２０年度東北地方整備局
国土形成事業調整費の概要

平成２０年７月２８日

東 北 地 方 整 備 局

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　TEL　022-225-2171（代）

総　　括：企画部　企画課長　岩崎（いわさき）　等（ひとし）　（内線 3151）

都市・住宅
公園関係：建政部　都市・住宅整備課長　堂薗（どうぞの）　洋昭（ひろあき）　（内線 6161）

河川関係：河川部　河川計画課長　小浪（こなみ）　尊宏（たかひろ）　（内線 3611）

道路関係：道路部　道路計画第一課長　大江（おおえ）　真弘（まさひろ）　（内線 4211）

会計関係：総務部　会計課長　森田（もりた）　泰生（やすお）　（内線 2411）

目　　次

１．　平成２０年度国土形成事業調整費の概要　・・・・・・・・・　１

２．　国費・事業費総括表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

３．　県別の事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

1. 平成20年度国土形成事業調整費の概要

国土形成事業調整費は、平成１９年度をもって廃止された社会資本整備事業調整費、都市再生プロジェクト事業推進費及び地域自立・活性化事業推進費を整理統合し今年度新たに創設されたものです。

国土形成計画に基づく事業の推進を図る『事業推進の部』、地域の整備・保全上主要な事業と認められる各府省の所管する事業間を調整する『事業調整の部』があります。

東北地方整備局では『事業推進の部』で１３　件、『事業調整の部』で１件の

計１４件　３，４３０百万円※

の事業を実施します。

※事業費

2. 国費･事業費総括表

東北地方整備局分		平成２０年度国土形成事業調整費					
		国　費（百万円）			事　業　費（百万円）		
			国土形成事業調整費			国土形成事業調整費	
			事業推進の部	事業調整の部		事業推進の部	事業調整の部
河川関係	直轄	**1,095** **(3)**	878 (2)	217 (1)	**1,416**	1,091	325
	補助	**0** **(0)**	0 (0)	0 (0)	**0**	0	0
		1,095 **(3)**	878 (2)	217 (1)	**1,416**	1,091	325
道路関係	直轄	**865** **(6)**	865 (6)	0 (0)	**1,200**	1,200	0
	補助	**331** **(4)**	331 (4)	0 (0)	**630**	630	0
		1,196 **(10)**	1,196 (10)	0 (0)	**1,830**	1,830	0
都市・住宅関係	直轄	**0** **(0)**	0 (0)	0 (0)	**0**	0	0
	補助	**92** **(1)**	92 (1)	0 (0)	**184**	184	0
		92 **(1)**	92 (1)	0 (0)	**184**	184	0
合　　計		**2,383** **(14)**	2,166 (13)	217 (1)	**3,430**	3,105	325

（参考）

全　　国	**14,763** **(105)**	14,431 (102)	332 (3)	**26,466**	25,958	508

1. 国費欄下段（ ）は件数を示す。
2. 四捨五入の関係で、各計数の和が合計と一致しないところがある。

３．県別の事業



【青森県】堤防の整備と河道掘削により つがる市の中枢機能を洪水から守る

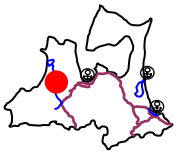
●事業一覧（青森県）　事業費計（青森県分）：９１１百万円

・国土形成事業調整費

（単位：百万円）

区分		事業名等	事業の内容	国費	事業費
河川	直轄	河川改修事業 岩木川（柏地区：つがる市）	築堤：L=１，６００m 河道掘削：V=１２２，０００m3	399	511
道路	直轄	交通連携推進事業 一般国道４号　七戸バイパス （七戸町）	改良工事：L=０．１km	156	200
	補助	地域連携推進事業 一般国道 279 号 易国間地区災害防除 （風間浦村）	斜面対策工	100	200

●主な事業：直轄河川改修事業　岩木川（いわきがわ）［柏（かしわ）地区］（直轄）



・築堤と河道掘削により、つがる市役所柏支所、公民館、小中学校、新たに開発された住宅地など、つがる市の中枢機能を洪水から守ります。



調整費等の投入効果

・平成２１年度の出水期前までに、洪水に対する安全性向上を図ります。

【岩手県】治水と文化財保護の両立のため 新たな河道掘削に着手



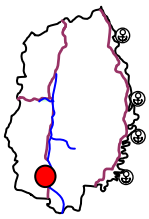
●事業一覧（岩手県）　事業費計（岩手県分）：８８０百万円

・国土形成事業調整費

（単位：百万円）

区分		事業名等	事業の内容	国費	事業費
河川	直轄	河川改修事業 衣川（衣川地区：平泉町）	河道掘削：L=４３０m V=５７千m3	479	580
道路	補助	地域連携推進事業 一般国道 284 号　真滝バイパス （一関市）	橋梁下部工：２基 護岸工事：A=１，１００m2	83	150
		地域連携推進事業 一般国道 342 号　花泉バイパス （一関市）	改良工事：L=１，４２０m	83	150

●主な事業：直轄河川改修事業　北上川上流［衣川地区］（直轄）



・奥州藤原氏の重要な遺跡（接待館遺跡）を保全すべく、堤防ルートを変更し、新たな河道の掘削を実施します。これにより、遺跡の保全および流下能力の向上を図ります。



調整費等の投入効果

・直近洪水の平成 14 年 7 月出水規模における低水河道整備が可能となり、衣川の流下能力向上が図られる。更に、洪水により流出が懸念されている接待館遺跡の保全を図ります。



【宮城県】登米志津川（とよましづがわ）道路の整備を促進

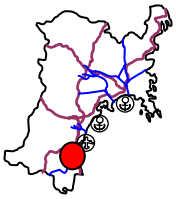
●事業一覧（宮城県）　事業費計（宮城県分）：１，００９百万円

・国土形成事業調整費

（単位：百万円）

区分		事業名等	事業の内容	国費	事業費
河川	直轄	河川改修事業 名取川（藤塚地区：仙台市）	築堤：L=２，０００m V=８１千m3	217	325
道路	直轄	地域連携推進事業 一般国道45号　登米志津川道路 （登米市）	改良工事：L=０．５km	210	300
		地域連携推進事業 一般国道108号 古川東バイパス （大崎市）	改良工事：L=０．４km	133	200
都市・住宅	補助	安全市街地整備道路事業 （富沢駅周辺地区）	道路築造：L=０．８２km	92	184

●主な事業：直轄河川改修事業　名取川（なとりがわ）［藤塚（ふじつか）地区］（直轄）



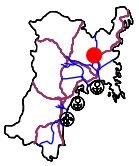
・名取川における無堤区間において、堤防整備を推進します。
堤防に使う土砂は、閖上漁港の浚渫土を利用することでコスト縮減を図ります。



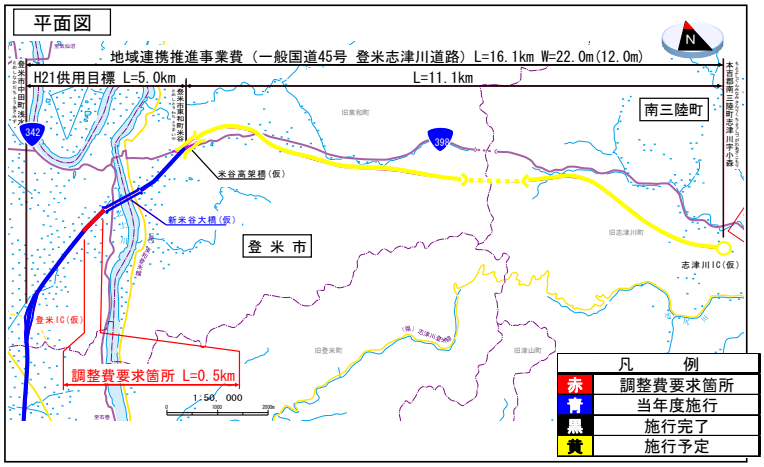
調整費等の投入効果

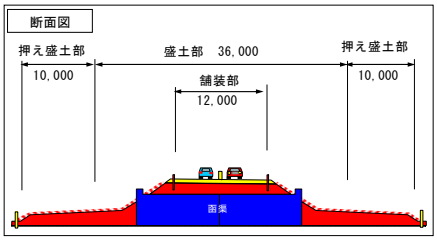
堤防整備を推進し、早期の治水安全度向上を目指します。

●主な事業：一般国道４５号　登米志津川（とよましづがわ）道路（直轄）



・本事業は、国土形成計画(平成２０年７月４日閣議決定)の主要施策である高規格幹線道路の整備を推進するものであり、当該予算の活用により、道路改良工事を促進します。





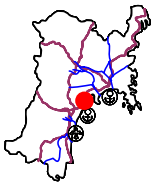


▲整備イメージ（供用済区間）

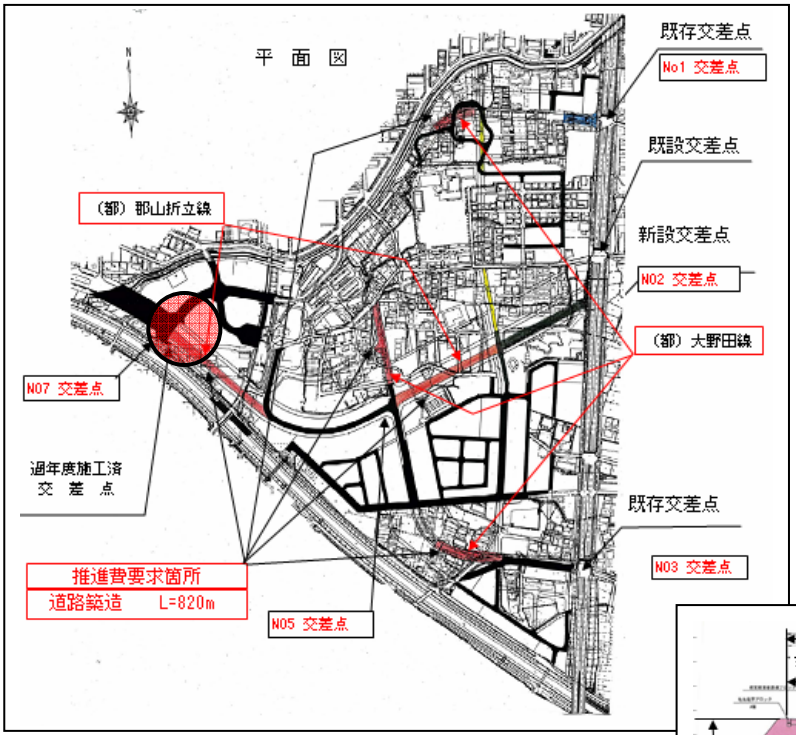
調整費等の投入効果

・事業の促進により、平成２１年度の部分供用(L=5.0 ㎞)が確実になります。

●主な事業：富沢駅周辺土地区画整理事業（補助）

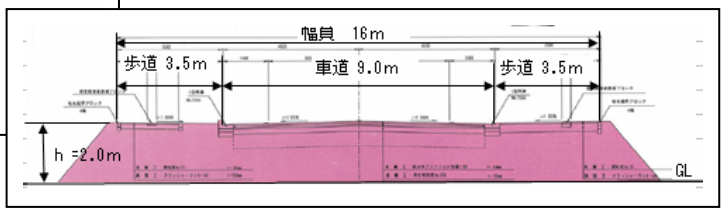


・富沢駅周辺地区は、都市圏南部の広域拠点である長町副都心地区に近接し、地下鉄富沢駅周辺の住宅地の整備とともに、道路、公園などの都市施設の整備を進めることにより、良好な住環境を形成します。



凡　例	
赤	推進費要求箇所
青	当年度施行
黒	施行完了
黄	施行予定





調整費等の投入効果

・今回の推進費を含めた予算執行により、道路ネットワークが整備されるとともに、交差点改良が終了し通過交通の円滑な処理、渋滞緩和など大きな効果が見込まれます。

【秋田県】大館西道路の整備を促進

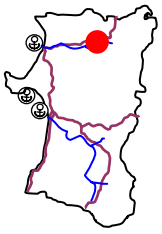


●事業一覧（秋田県）　事業費計（秋田県分）：２００百万円

・国土形成事業調整費　　（単位：百万円）

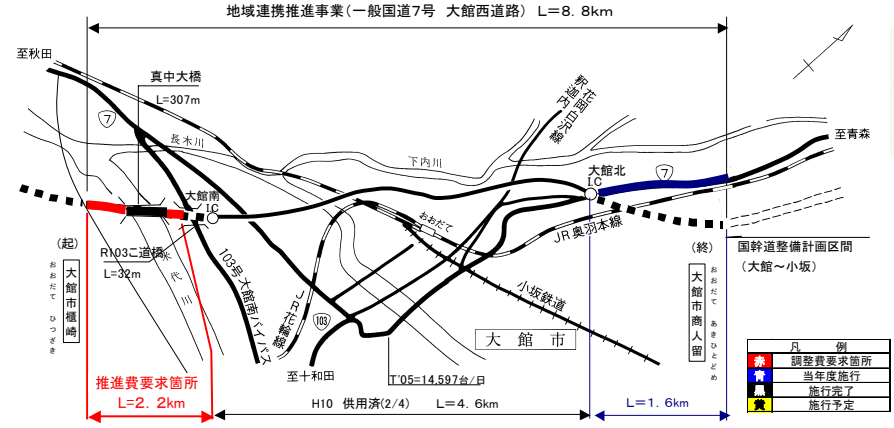
区分		事業名等	事業の内容	国費	事業費
道路	直轄	地域連携推進事業 一般国道 46 号　角館バイパス （仙北市）	汚染土壌対策工事：L=０．３km	80	100
		地域連携推進事業 一般国道７号　大館西道路 （大館市）	改良工事：L=２．２km	80	100

●主な事業：一般国道７号　大館西道路（直轄）

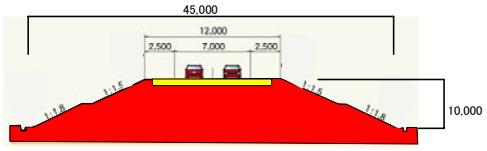


・本事業は、国土形成計画（平成２０年７月４日閣議決定）の主要施策である高規格幹線道路の整備を推進するものであり、当該予算の活用により、道路改良工事を促進します。

平面図



断面図



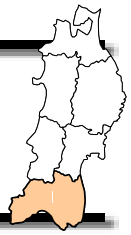


▲整備イメージ（供用済区間）

調整費等の投入効果

・他工事から発生する土砂の受け入れ等の事業効率化が図られます。

【福島県】地下横断歩道を整備し、歩行者の安全を確保



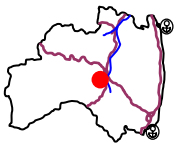
●事業一覧（福島県）　事業費計（福島県分）：４３０百万円

・国土形成事業調整費

（単位：百万円）

区分		事業名等	事業の内容	国費	事業費
道路	直轄	地域連携推進事業 一般国道４号 郡山バイパス （須賀川市～本宮市）	地下横断歩道整備：１箇所	206	300
	補助	交通円滑化事業 一般国道 288 号 三春西バイパス （田村郡三春町）	改良工事：L=０．４km	65	130

●主な事業：一般国道４号　郡山バイパス（直轄）



・本事業は、国土形成計画（平成２０年７月４日閣議決定）の主要施策である地域高規格道路の整備を推進するものであり、当該予算の活用により、郡山バイパス内に計画される静町地下横断歩道の工事を促進します。



現況



▲交差点横断状況

整備イメージ



▲新設地下道横断歩道

調整費等の投入効果

・静町地下道の整備事業を前倒しすることで、安全な歩行環境を早期に確保し、平成２１年度完成予定の台新交差点の立体化と同時完成を図ります。